

第24回青年対策交流会に参加して

関東地方鹿島港支部 青年副部長 後藤 武俊

1日目は全港湾中央書記長の松永氏による港湾産別の話をしてもらいました。

内容としては、戦後まもない港は無秩序な環境下で保障もなく末端の作業員は安い賃金で使われるだけ使われて、今日明日の寝床や食事など保障されない過酷な労働条件で生活していたということを知り、そんな弱い立場の労働者のために港湾産別というルールができたということを知りました。

2日目は大阪、神戸、IR建設予定地を視察し、大阪IRについての問題をグループ分けをして、IRが出来たらどのような問題が起こるかを話し合いをしました。話し合いの中で僕自身IRというワードを知っていただけで内容は分からなかったし、IR建設予定地はコンテナ荷役をやっている隣で人口島なので警察署もなく薬物などの犯罪が多発しそうな場所だと思いました。それなのにお金と雇用が生み出せるという理由だけで建設を進めているのはおかしいと思いました。

この交流会で感じたことは、IRの建設は仕事が盛んに行なわれている地域だしそんな所にカジノができたせいで物流が止まってしまったりして大勢の地元住民の衣食住にどれがけ深刻なダメージになるのかなどIRの問題について知ることが出来ました。

この問題は日本全体の問題だと考え、全港湾の仲間たちと一致団結をしてIR建設反対に自分も微力ながら協力できたらいいと思います。